

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

阿智村

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	生活圏森林等整備事業
事業費 4,400,000 円 (うち支援金: 1,323,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

村内のいたる所で竹林や森林が伐採されずに放置されている状況が見受けられる。中でも、小学生等児童が通学路として利用する村道等に、枝が覆いかぶさりうっそうと茂り、また、電線・電柱や公共施設あるいは家屋なども近くに存在し、倒伏や枝の落下で被害が発生している。

また、人家に隣接する山林が熊など獣の住処となり危険な状況となる中で、緊急に未整備森林の環境整備を望む声が地元自治会や PTA から出ており行政による対応が必要となっている。

(2) 本事業の目的

要望箇所の中から、緊急度の高い生活圏に密着した道路周辺や公共施設周辺箇所を選定し伐採整備等を行い、以後の管理は地権者(所有者)や地元自治会等関係者が行うことを約束し、健全な山林維持と安全で災害に強い地域づくりを目的とする。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

【第三小】阿智村智里 948-1 外 【中平地区】阿智村智里 2233-2 外

(2) 対象者

地権者(所有者)

(3) 実施方法

支障木の択伐と枝払い

(4) 事業目標及び当年度事業量

① 全体計画(平成 30 年度～令和 4 年度)

約 2ha×5 年間 10ha

② 令和 3 年度計画

第三小学校周辺 0.01ha、中平地区河川周辺山林 0.3ha

【第三小】

着工前

着工後



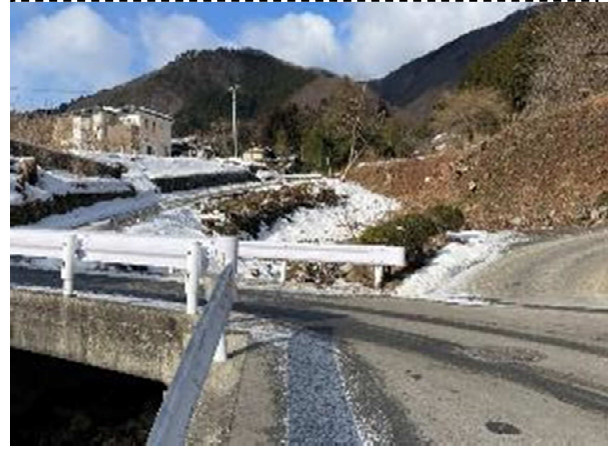
【旗・看板設置】



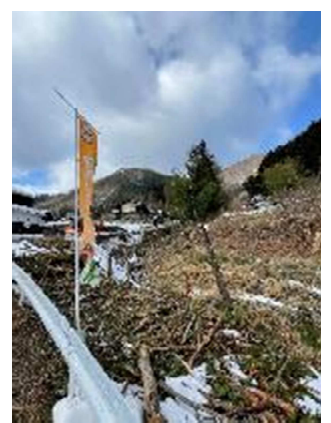
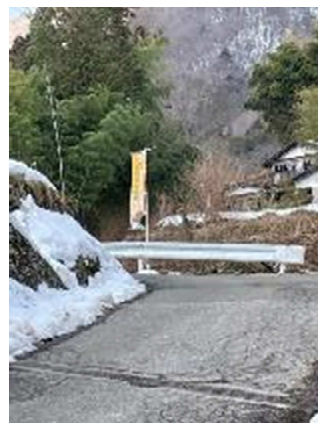
【中平地区】

着工前

着工後



【旗・看板設置】



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

道路周辺や公共施設周辺の山林を整備し、以後の管理は地権者(所有者)や地元自治会等が行うことにより、地域住民自らによる安全で災害に強い地域づくりを促す事ができる。

又、ニホンザルやクマ等獣類の出没しにくい環境を整えられる。

危険木伐採の後は、地元になんだ低木等の植樹による「新たな森づくり」を行う事により、森林の重要性や手入れの必要性を学ぶ“場”の提供も自治協議会と検討する事としている。

(2) 継続性

事業実施以後の管理は地権者や地元で実施する事を約束することで森林の手入れが継続して可能となりその必要性が周知される。

(3) 普及性

多くの住民に事業効果が明確であり、森林税活用事業として定着してきており評価も高い。今後も継続していく必要がある。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

緊急度の高い生活圏に密着した道路や公共施設周辺箇所の伐採整備等を行った結果、通学・通園、車両の往来の安全確保、河川の氾濫等災害発生の軽減や有害獣類が住み着く環境が回避された。また、山林内へのゴミの不法投棄もなくなる可能性が高い。

(2) 課題

他にも同様の問題を抱える箇所が多く点在し、行政に対応を求められるが財源不足から年間に行える事業量は限られる。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

現行どおりに事業は継続する予定だが、財源確保を検討し実施規模を拡大できるよう努める。

今後の事業見込については、村内全体での要望箇所は面積が3~5haと推測される。

里山整備利用地域活動推進事業を推進し、地元による里山整備も促進していく。